

毎月11日は

防災を(考)える日



令和2年9月号

「高潮と台風の進路に注意」

■高潮と台風の関係性

台風吹き込む風は反時計回りで、ふつうは進行方向に対して右側で強くなっています。

そのため、南に開いた湾の場合は台風が西側を北上した場合には南風が吹き続け高潮が起こります。さらに強風によって発生した高い波も沖から押し寄せますので、高潮に高波が加わって海面は一層高くなります。



〔「高潮と台風の進路」(気象庁ホームページ)を加工して作成〕

＜参考＞ 気象庁HP【潮位観測情報】▶ <https://www.jma.go.jp/jp/choi/>



■防災基礎クイズ

Q 台風の強さの階級で「非常に強い」に区分される最大風速は次のうちどれでしょうか？

①33m/秒以上～44m/秒未満

②44m/秒以上～54m/秒未満

③54m/秒以上

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

(答え:②(44m/秒以上～54m/秒未満です。54m/秒以上は「猛烈な」になります。))